

FUJITSU Desktop ESPRIMO

ESPRIMO Q558/B

ESPRIMO Q558/BW

BIOS セットアップメニュー 一覧

Intel、インテル、Intel ロゴ、Intel Core、Celeronは、アメリカ合衆国および / またはその他の国における Intel Corporation の商標です。

その他の各製品名は、各社の商標、または登録商標です。
その他の各製品は、各社の著作物です。
その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

BIOSセットアップメニュー詳細

BIOSセットアップのメニューについて説明しています。
BIOSセットアップのメニューは次のとおりです。

メニュー	説明
メイン (→P.2)	BIOSやパソコン本体についての情報が表示されます。 また、日時や言語を設定します。
詳細 (→P.3)	CPUや内蔵デバイス、周辺機器などを設定します。
セキュリティ (→P.5)	パスワードなどのセキュリティ機能を設定します。
電源管理 (→P.8)	停電復旧時の動作や、Wake up on LAN 機能などを設定します。
イベントログ (→P.9)	イベントログに関する設定を行います。
起動 (→P.9)	起動時の動作について設定します。
終了 (→P.10)	設定値の保存や読み込み、BIOSセットアップの終了などを行います。

重要

- BIOSセットアップの仕様は、改善のために予告なく変更することがあります。
あらかじめご了承ください。

POINT

- ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動すると、設定変更のできる項目が制限されます。制限された項目はグレーに表示されます。
ユーザー用パスワードでBIOSセットアップを起動した場合に変更できる項目は次のとおりです。

メニュー	設定項目
メイン	言語 (Language)
	システム日付
	システム時刻
セキュリティ	ユーザー用パスワード設定
起動	起動時のNumLock設定
	起動時のロゴ表示
終了	変更を保存して終了する (再起動)
	変更を保存せずに終了する (再起動)
	変更を保存して終了する (電源OFF)

メインメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
BIOS情報	
BIOSベンダー	
カスタマイズ	
コア版数	
コンプライアンス	
システム情報	
システムボードおよびファームウェア	
BIOS 版数	
BIOS 日付	
Board	
型名	
製造番号	
カスタムメイド番号	
UUID	
LANデバイス	
LAN1 MAC Address	
CPU詳細	
CPU名	
メモリ詳細	
メモリ容量/周波数	
DIMM CHA1	
DIMM CHB2	
Open Source Software License Information	
システム日付 01/01/1998～12/31/2100	・【Tab】キー／【Enter】キー…右の項目に移動 ・数字キーで入力 ・OSが自動的に変更する場合あり
システム時刻 00：00：00～23：59：59	・【Tab】キー／【Enter】キー…右の項目に移動 ・数字キーで入力

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
言語 (Language) □English ■日本語	
アクセスレベル	BIOS セットアップを管理者用パスワードで起動した場合は「管理者」、ユーザー用パスワードで起動した場合は「ユーザー」と表示される
キーボードレイアウト □English(US) □Spanish □French □Brazilian □Dutch □German □Italian □Swedish □Danish □Finnish □Norwegian □Russian ■日本語 □Korean □Chinese	BIOSパスワードを設定している場合は設定不可

詳細メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
オンボードデバイス設定	
内蔵LANデバイス ■使用する □使用しない	
オーディオコントローラー ■使用する □使用しない	
無線LANデバイスとBluetooth □使用しない ■使用する	無線LAN／Bluetooth搭載機種のみ設定可能
CPU設定	
アクティブコア Core i7の場合 ■全て □1 □2 □3 □4 □5 □6 □7 Core i5の場合 ■全て □1 □2 □3 □4 □5 Core i3の場合 ■全て □1 □2 □3 Celeronの場合 ■全て □1	
Intel Virtualization Technology □使用しない ■使用する	
VT-d ■使用する □使用しない	
SW Guard Extensions (SGX) □使用しない □使用する ■ソフトウェア制御	
Enhanced SpeedStep □使用しない ■使用する	※注1
Turbo Mode □使用しない ■使用する	・対応CPU搭載時に設定可能 ・下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「Enhanced SpeedStep」が「使用する」 ※注1

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
C States □使用しない ■使用する	※注1
Package C State limit □C0 □C2 □C3 □C6 □C7 □C7S □C8 □C9 □C10 □CPU Default ■自動	※注1
ドライブ設定	
NVMe デバイス設定	搭載されている NVMe デバイスを表示
Onboard SATA設定	
SATA Port 0	
Port 0 □使用しない ■使用する	
SATA Port 1	
Port 1 □使用しない ■使用する	
SMART 設定	
SMART 診断 ■使用しない □使用する	
TPM (セキュリティチップ) 設定	
セキュリティチップ □無効にする ■有効にする	
TPM 状態の変更内容 ■変更しない □クリアする	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「セキュリティチップ」が「有効にする」 ⇒『製品ガイド (共通編)』の「2 章 BIOS」—「セキュリティチップの設定を変更する」を参照
現在の TPM の状態	
USB 設定	
USB 設定	接続されている USB デバイスを表示
USB ポートセキュリティ	
USB ポート設定 ■全て有効 □全て無効 □前面と内部のみ有効 □背面と内部のみ有効 □内部のみ有効 □使用中ポートのみ有効	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
USB デバイス設定 ■全てのデバイス □キーボード/マウスのみ □ストレージと Hub 以外	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「USB ポート設定」が「前面と内部のみ有効」 または「背面と内部のみ有効」 または「使用中ポートのみ有効」
System Management	
FAN 制御 ■Enhanced □自動 □Full	※注1
温度	
CPU	温度センサー (CPU 内蔵) の現在の状態
M.2	温度センサー (M.2) の現在の状態
PSU	温度センサー (電源ユニットに搭載) の現在の状態
Core	温度センサー (Core) の現在の状態
Memory	温度センサー (Memory) の現在の状態
PCH	温度センサー (チップセット内部) の現在の状態
FAN	
SYS	システムファンの現在の状態
シリアル/パラレルポート設定	
シリアルポート1 設定	
シリアルポート □使用しない ■使用する	
デバイス設定	下記の項目が次のように設定されているときに表示 •「シリアルポート」が「使用する」
I/O アドレスと割り込み ■自動 □IO=3F8h; IRQ4; □IO=3F8h; IRQ3,4,5,6,7,9, 10,11,12; □IO=2F8h; IRQ3,4,5,6,7,9, 10,11,12; □IO=3E8h; IRQ3,4,5,6,7,9, 10,11,12; □IO=2E8h; IRQ3,4,5,6,7,9, 10,11,12;	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 •「シリアルポート」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
AMT設定	
ME版数	
ネットワークスタック	
ネットワークスタック □使用しない ■使用する	
IPv4環境での起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「ネットワークスタック」が「使用する」
IPv6環境での起動 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「ネットワークスタック」が「使用する」
内蔵ビデオ設定	
プライマリディスプレイ ■自動 □内蔵ビデオ	
内蔵ビデオ ■自動 □使用しない □使用する	
内蔵ビデオメモリサイズ □32MB ■64MB □128MB □256MB □512MB □1024MB □1536MB	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「内蔵ビデオ」が「自動」または「使用する」 ※注1
DVMTメモリサイズ □128MB ■256MB □MAX	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「内蔵ビデオ」が「自動」または「使用する」 ※注1
Realtek PCIe GBE Family Controller	オンボードLANデバイスのオプションROMに関するサブメニュー ※注1

注1：本設定は初期値のまま変更せずにお使いください。

セキュリティメニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ユーザー用パスワード文字数 4	・ユーザー用パスワードの設定可能文字数（3～32）を設定 ・管理者用パスワード設定時に設定可能
管理者用パスワード設定	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ユーザー用パスワード設定	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
起動時のパスワード入力 □毎回 □最初のみ ■使用しない	・管理者用パスワード設定時に設定可能 ・毎回…本パソコンの起動時ごとに、パスワード入力を要求 ・最初のみ…本パソコンの電源を入れたときのみ、パスワード入力を要求 ・使用しない…本パソコンの起動時に、パスワード入力の要求なし ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
自動ウェイクアップ時のパスワードスキップ ■使用しない □使用する	・管理者用パスワード設定時に設定可能 ・使用しない…自動ウェイクアップ時での起動時に、パスワード入力を要求 ・使用する…自動ウェイクアップ時での起動時に、パスワード入力の要求なし ・ハードディスクパスワードの入力スキップは不可
システムファームウェア更新機能 □使用しない □使用する（制限付き） ■使用する	
システムファームウェアロールバック ■使用しない □使用する	

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
ハードディスクセキュリティ設定	
起動時のHDDパスワード入力 ■使用する □使用しない	・ハードディスクパスワード設定時に設定可能 ・使用する…本パソコン起動時に、ハードディスクパスワード入力要求 ・使用しない…本パソコン起動時に、ハードディスクパスワード入力の要求なし ・再起動時は、本設定に関係なくパスワード入力の要求なし（フラッシュメモリディスク（NVMe）を除く） ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
〔ハードディスクドライブ名〕	ハードディスクセキュリティに対応したハードディスク搭載時に表示 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」－「BIOSのパスワード機能を使う」を参照
ハードディスクセキュリティ設定	
Security Supported	設定状況を表示
Security Enabled	設定状況を表示
Security Locked	設定状況を表示
Security Frozen	設定状況を表示
ユーザーパスワードの状態	設定状況を表示
マスターパスワードの状態	設定状況を表示
ユーザーパスワード設定	電源投入直後にBIOSセットアップを起動した場合に設定可能。再起動後は表示されない。

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
セキュアブート設定	
署名情報の保護	・設定状態を表示 ・「無効（セットアップモード）」または「有効（ユーザーモード）」と表示される
セキュアブート	・設定状態を表示 ・「セキュアブート機能」が「使用する」時は「使用する」、「使用しない」時は「使用しない」と表示される
Vendor Keys	セキュアブート機能が「使用する」時の設定状態を表示
セキュアブート機能 □使用しない ■使用する	本設定を変更して再起動すると、「起動デバイスの優先順位」が変更される（必要に応じて起動順位を設定し直し） ※注1 ※注2
署名情報設定 ■標準 □カスタム	
署名情報の管理	
署名情報の初期化 □使用しない ■使用する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
署名情報の初期化	下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」 ・「署名情報の初期化」が「使用する」
署名情報の削除	下記の項目が次のように設定されているときに表示／設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」 ・「署名情報の初期化」が「使用しない」
キーの保存	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Device Guard Ready	
Remove 'UEFI CA' from DB	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」
Restore DB defaults	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Secure Boot variable	
Platform Key(PK)	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Key Exchange Key	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized Signatures	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
Forbidden Signatures	
Details	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Save To File	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Delete Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Authorized TimeStamps	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
OSRecovery Signatures	
Set New Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」
Append Key	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ◆「署名情報設定」が「カスタム」

注1：「セキュアブート機能」が「使用する」で、Windows 10（UEFIモード）以外のOSから起動した場合、「起動可能なデバイスが見つかりませんでした」などのメッセージが表示されます。

注2：Windows 10のモード（UEFI／レガシー）は、次の手順で確認できます。

- 1 Windowsを起動します。
- 2 タスクバーの「検索」ボックスに、「msinfo32」と入力して【Enter】キーを押します。「システム情報」が表示され、「BIOSモード」の項目に「UEFI」または「レガシー」が表示されています。

電源管理メニュー

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
電源管理設定	
AC通電再開時の動作 ■使用しない □電源OFF □電源ON □自動	・ 設定変更は再起動後に有効 ・ 電源OFF…通電再開時に一瞬電源が入り、WoLなどを初期化。その後電源OFF。 ・ 自動…電源断発生時の状態による。 起動中、スリープは「電源ON」 シャットダウン、休止状態は「電源OFF」 ※注1
電源オフ時の電源供給 ■電源OFF □電源ON	設定変更は再起動後に有効
ウェイクアップ設定	
PC-ディスプレイ電源連動機能 □使用しない □電源ONのみ ■使用する	設定変更は再起動後に有効
LAN ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3 ※注4 ※注5 ⇒「製品ガイド（共通編）」の「2章 BIOS」—「Wakeup on LANを有効にする」を参照
LANによるウェイクアップ後の起動 ■起動順位に従う □ネットワークから起動する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「LAN」が「使用する」
キーボード ■使用しない □使用する □専用キーのみ	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「電源オフ時の電源供給」が「電源ON」
時刻 ■使用しない □使用する	設定変更は再起動後に有効 ※注2 ※注3 ※注6
時 0～23	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」
分 0～59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」

□選択肢 ■初期値

設定項目	備考
秒 0～59	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」
モード □毎週 ■毎日 □毎月	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」
日曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」 ・「モード」が「毎週」
月曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」 ・「モード」が「毎週」
火曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」 ・「モード」が「毎週」
水曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」 ・「モード」が「毎週」
木曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」 ・「モード」が「毎週」
金曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」 ・「モード」が「毎週」
土曜日 □使用する ■使用しない	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」 ・「モード」が「毎週」
日 1～31	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ・「時刻」が「使用する」 ・「モード」が「毎月」

注1：UPSなどを使って通電再開時に電源を投入させたい場合は、「電源ON」に設定してください。ただし、「電源ON」設定時に、本パソコンの電源切断状態からAC入力に瞬断が発生すると、本パソコンの電源が投入されることがあります。

注2：Windowsの高速スタートアップを無効にしてください。

注3：「AC通電再開時の動作」を「使用しない」に設定した場合、停電などのAC電源切断が発生すると、次に本パソコンの電源を入れるまで本機能は使用できなくなります。

注4：省電力状態（スリープ状態）からレジューム（復帰）させることはできません。デバイスマネージャーでの設定が必要です。

注5：省電力状態（休止状態）からレジューム（復帰）させるには、デバイスマネージャーでの設定も必要です。

注6：省電力状態（スリープ状態）からレジューム（復帰）させることはできません。タスクスケジューラまたはタスクでの設定が必要です。

イベントログメニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
イベントログ設定	
イベントログ設定	
イベントログ ☐ 使用しない ☒ 使用する	
イベントログ消去設定	
イベントログの消去 ☒ いいえ ☐ 次回起動時に消去します ☐ 毎回起動時に消去します	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「イベントログ」が「使用する」 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「イベントログを消去する」を参照
イベントログフル ☒ 何もしない ☐ すぐに消去する	下記の項目が次のように設定されているときに設定可能 ♦「イベントログ」が「使用する」
イベントログの表示	⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「イベントログを確認する」を参照

起動メニュー

☐選択肢 ☒初期値

設定項目	備考
起動設定	
起動時のNumLock設定 ☒ On ☐ Off	Windowsログオン後は前回終了時の状態になる
起動時のロゴ表示 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
起動エラー時の動作 ☐ 起動を続ける ☒ キー押下まで待つ	※注1
キーボードエラー検出 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
UEFI起動デバイス追加時の優先順位 ☐ 標準 ☐ 最上位 ☒ 最下位	
起動メニュー ☐ 使用しない ☒ 使用する	
リムーバブルメディアからの起動 ☐ 使用しない ☒ 使用する	
起動デバイスの優先順位	OSを読み込むデバイスの優先順位を設定 ※注2 ⇒『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「起動デバイスを変更する」を参照
Boot Option #n #1: Windows Boot Manager ([HDDデバイス名]) #2: UEFI: PXE IP4 [LANデバイス名] #3: UEFI: PXE IP6 [LANデバイス名]	nは起動の順位を示す ・カスタムメイドオプションおよびお使いの状況により、起動順位は異なる ・「UEFI: [CD/DVDドライブ名]」は、UEFI起動可能なディスクをセットしている場合に表示 ・UEFIアプリケーションが、優先順位を変更することがある

注1：本設定を「起動を続ける」に設定しても、エラーメッセージは表示され、イベントログにも記録されます。

注2：ネットワークサーバーから起動するためには、「Wired for Management Baseline Version 2.0」に準拠したインストレーションサーバーシステムが必要となります。

終了メニュー

項目を選んで【Enter】キーを押すと、確認画面が表示されます。

設定項目	備考
変更を保存して終了する（再起動）	
変更を保存せずに終了する（再起動）	
変更を保存して終了する（電源OFF）	
標準設定値を読み込む	次の項目は対象外 ・言語（Language） ・システム日付 ・システム時刻 ・キーボードレイアウト ・管理者用パスワード ・ユーザー用パスワード ・ハードディスクパスワード ・起動デバイスの優先順位 ⇨『製品ガイド（共通編）』の「2章 BIOS」―「ご購入時の設定に戻す」を参照
強制起動	
起動デバイス名	